

一般会計予算決算常任委員会総務文教分科会審査日程

日 時 令和4年9月5日（月）
総務文教常任委員会終了後
場 所 第2委員会室

日 時 令和4年9月6日（火）
午前9時
場 所 第2委員会室

議案第48号 令和3年度山陽小野田市一般会計歳入歳出決算認定について
議案第58号 令和4年度山陽小野田市一般会計補正予算（第5回）について

補正予算（第5回）

審査番号① 企画部

(1) 歳入に係る説明

- 10-1-1、11-1-1、19-1-1、22-1-9 財政課

(2) 歳入に係る質疑

(3) 歳出に係る説明

- 2-1-9 デジタル推進室
- 2-1-9 企画課（歳入22-1-1）
地方債補正：商工センター除却事業債
- シティセールス課
債務負担行為補正：広報紙編集用機器リース事業

(4) 歳出に係る質疑

審査番号② 総務部、大学推進室

(1) 歳出（特定財源を含む）に係る説明

- 2-1-1、2-1-14 総務課
- 2-7-1 大学推進室（歳入19-1-9、21-4-3）

(2) 歳出（特定財源を含む）に係る質疑

審査番号③ 教育委員会

(1) 歳出（特定財源を含む）に係る説明

- 10-2-1、11-4-1 教育総務課（歳入15-1-4、22-1-10）
債務負担行為補正：埴生小学校スクールバス調達事業

地方債補正：公立学校施設災害復旧事業債

- 10-2-2、10-3-2 学校教育課

債務負担行為補正：教育系サーバー更新事業

- 10-5-3、10-5-8 社会教育課（歳入 22-1-8）

地方債補正：歴史民俗資料館整備事業債

(2) 歳出（特定財源を含む）に係る質疑

決算認定

審査番号	項目 明示していないが、各課の歳入を含む	ページ	審査事業	担当部・課
①	2 款 1 項 15 目、2 項 1、2 目、 7 項 1 目 歳入：1 款	150-151 170-173 190-193 52-55	7 8	税務課 大学推進室
②	1 款 議会費	124-127		議会事務局
	9 款 消防費	318-321	1	消防課
③	2 款 1 項 1～3、14、29、31 目 5 項 1、2 目	126-135 148-151 166-171 188-191	5	総務課 人事課
④	2 款 1 項 4、6、8、31 目 12 款 1 項 1、2 目 13 款 1 項 1 目 歳入：2～11 款	134-143 168-171 366-369 54-61		情報管理課 財政課
⑤	2 款 1 項 5、9、10、31 目 7 款 1 項 4 目	136-139 142-145 168-171 288-291	2 3 4 9	シティセールス課 企画課 デジタル推進室
⑥	2 款 1 項 7、18 目、4 項 1～7 目、6 項 1 目	138-139 152-153 176-189 190-191	6	出納室、監理室、 選挙管理委員会事 務局、 監査委員事務局

⑦	2 款 1 項 10、28 目、3 項 1 目	142-145 164-167 172-177		地域活性化室 ハースポーツセンター
⑧	10 款 1 項 2 目、5 項 1~4 目	322-327 342-357	13 14	社会教育課 図書館、歴史民俗 資料館
⑨	10 款 5 項 5~9 目	356-361		社会教育課
⑩	10 款 1 項 1~3 目、2 項 1~4 目、3 項 1~4 目、4 項 1 目、5 項 7 目、6 項 1、2 目	322-343 358-365	10 11 12 15	教育総務課、学校 教育課、埴生幼稚 園、給食センター

※ 1 決算審査は審査番号ごとに職員を入れ替えながら行います。

※ 2 決算認定の審査番号⑦は、5日の午後1時から行います。

※ 3 補正予算の審査番号③歴史民俗資料館分及び決算認定の審査番号⑧、
⑨は、6日の午前9時から行います。

※ 4 決算認定の審査番号⑩は、6日の午後1時から行います。

※ 5 審査の進行状況により、審査の前倒し、先送りを行うこともあります。

※ 6 決算審査の方法は、審査番号ごとに次の順序で行います。

- (1) 審査対象事業の説明（事業概要、実績、成果、課題及び改善策、今後の方向性を簡潔に説明）及び質疑（複数ある場合は、1事業ごとに行う）
- (2) 決算書の歳出の質疑（審査対象事業の部分を除く）
- (3) 決算書の歳入の質疑（審査番号ごとに歳入の質疑を行います）

「デジタルデバイド対策事業」について

1 事業概要

デジタル活用に不安のある高齢者等の解消に向け、オンラインによる行政手続きやサービスの利用方法に対する助言、相談等を行う「スマホ教室」を地域交流センターで行う。

2 目的

高齢者等のスマートフォン利用促進、デジタル機器利用への不安の解消

3 開催概要

会場	各地域交流センター（11会場）
人数	各20名まで
日程	12月～2月 ・各センターを同じ曜日、時間帯で設定
回数	各地域交流センター4回（各回60分）
内容 (検討中)	スマホ教室 ① インターネットの利用方法 ② マイナンバーカードの申請方法／マイナポイントの予約・申込方法 ③ SNS／コミュニケーションアプリ（LINE）の利用方法 ④ その他 →アンケート実施

4 実施方法

スマホ教室開催に実績がある事業者（携帯電話販売店・通信業者等）を対象に公募・選定の上、講師の派遣、教材の作成等を委託する。

5 予算措置

講師派遣業務委託料 150万円

広報紙編集用機器リース事業のスケジュール及び内容について

1 現在使用している広報紙編集用機器の契約内容

(1) 契約期間

①当初 平成30年7月1日～平成34年（令和4年）6月30日（4年間）
 ※次期契約について、パソコンの供給不足により、入札が執行できない状況となつたため、1年間の再リース契約を締結。

②現在 令和4年7月1日～令和5年6月30日（1年間・再リース）

(2) ②の賃貸借料 年額 824,340円（税込）

(3) ③の契約内容 パソコン5台、ソフトウェア（Adobe Creative Cloud 他）

2 更新契約までのスケジュール（予定）

月	内容	
	令和4年3月時点の案	今回の変更案
R4. 4月	入札	
5月		
6月		
7月	編集用機器更新	再リース開始
8月		
9月		9月議会
10月		
11月		入札
12月		
R5. 1月		
2月		
3月		
4月		
5月		
6月		再リース終了
7月		編集用機器更新
8月		

機器の納入に
 必要な期間

3 新規の契約内容（予定）

(1) 契約期間 令和5年7月1日～令和9年6月30日（4年間）

(2) 賃貸借料 年額 1,702,800円（月額 141,900円・税込）×4年間 ※2社平均

(3) 賃貸借の内容 パソコン5台、ソフトウェア（Adobe Creative Cloud 他）

令和4年度の公立大学分に関する普通交付税措置額と用途について

I : 当初予算 (補正前)

【運営費分】 ・工学部：1,443,000円×906人=1,307,358,000円… ① ・薬学部：1,671,000円×602人=1,005,942,000円… ② 計(①+②)：2,313,300千円… ③
【授業料等減免分】 92,703千円… ④
普通交付税措置額… ① (③+④) 2,406,003千円

II : 9月補正 (補正後)

【運営費分】 ・工学部：1,460,760円×902人=1,317,605,520円… ① ・薬学部：1,663,800円×597人=993,288,600円… ② 計(①+②)：2,310,894,120円 ⇒2,310,894千円(千円未満四捨五入)… ③	差額 (II-I) ▲2,406千円
【授業料等減免分】 134,260,861円 ⇒134,261千円(千円未満四捨五入)… ④	41,558千円
普通交付税措置額… ① (③+④) 2,445,155千円	39,152千円

施設整備事業		其他大学事業	
①普通交付税充当額 ・工学部の2割 ① ×0.2=261,471千円 ・薬学部の4割 ② ×0.4=402,376千円 663,847千円		⑦普通交付税充当額 ① 2,406,003千円 - ① 663,847千円 1,742,156千円	
大学校舎建設事業費の一般財源相当額 (事業費総額244,125千円-地方債174,700千円) 69,425千円	用途	運営費交付金 1,620,304千円	用途
公債費 (薬学部校舎建設等の地方債元利償還金) 643,888千円		授業料等減免補助金 92,703千円	
-		その他大学関連経費 (定住促進事業6,592千円+出資関連経費5,050千円) 11,642千円	
計(②) 713,313千円		計(⑧) 1,724,649千円	
差引過不足額…(①-②) ▲49,466千円		差引過不足額…(⑦-⑧) 17,507千円	

施設整備事業		其他大学事業		差額 (II-I)
①普通交付税充当額 ・工学部の2割 ① ×0.2=263,521千円 ・薬学部の4割 ② ×0.4=397,315千円 660,836千円		⑦普通交付税充当額 ① 2,445,155千円 - ① 660,836千円 1,784,319千円		▲3,011千円
大学校舎建設事業費の一般財源相当額 (事業費総額244,125千円-地方債174,700千円) 69,425千円	用途	運営費交付金 1,620,304千円	用途	0千円
公債費 (薬学部校舎建設等の地方債元利償還金) 643,888千円		授業料等減免補助金 92,703千円		0千円
-		その他大学関連経費 (定住促進事業6,592千円+出資関連経費5,050千円) 11,642千円		0千円
計(②) 713,313千円		計(⑧) 1,724,649千円		0千円
差引過不足額…(①-②) ▲52,477千円		差引過不足額…(⑦-⑧) 59,670千円		▲3,011千円

↑ 不足額を基金から繰入れ ↑

↓ 余剰額を基金に積立て ↓

↑ 不足額を基金から繰入れ ↑

↓ 余剰額及び納付金を基金に積立て ↓

公立大学法人運営基金繰入金	49,466千円
---------------	----------

公立大学法人運営基金積立金	17,507千円
---------------	----------

公立大学法人運営基金繰入金	52,477千円	3,011千円
---------------	----------	---------

公立大学法人運営基金積立金	59,721千円	42,214千円
---------------	----------	----------

公立大学法人納付金について

■概要（地方独立行政法人法より）

・第40条第4項

地方独立行政法人は、中期目標期間（※）終了時に積立金があるときは、設立団体の長の承認を受けた金額を次の中期目標の期間における業務の財源に充てることができる。

※第1期中期目標期間：平成28年4月1日～令和4年3月31日

第2期中期目標期間：令和4年4月1日～令和10年3月31日

・第40条第5項

地方独立行政法人は、前項に規定する承認を受けた金額を控除してなお残余があるときは、その残余を設立団体に納付しなければならない。

■第2期中期目標期間への繰越額と市への納付額

第1期中期目標期間終了時の積立金残高	1,195,769,883円
↓	
第2期中期目標期間への繰越額	1,195,719,686円
↓	
市への納付額（※）	50,197円

※市への納付額50,197円は、退職手当の財源として用途を特定して交付した特別運営費交付金のうち、支出することなく積立金に積み立てられたもの。

■第2期中期目標期間において財源に充当予定の事業

公立大学法人山陽小野田市立山口東京理科大学が策定した第2期中期計画において、積立金の用途を「教育研究の質の向上及び施設整備に充てることを基本とする。」と定めており、第2期中期目標期間へ繰り越す積立金は、以下の事業の財源に充てる予定としている。

- ・多目的文化施設整備事業
- ・研究機器センター機器更新事業
- ・工学部新校舎整備事業

教育系サーバー更新事業スケジュール

	当初計画	2022										2023											
		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	
1	当初（仮想化のみ）	入札・契約		納品・構築（6ヶ月）						運用													
	OSサポート期限（R5.1.10）	→																					
2	補正（インターネット分離追加）	補正	入札・契約		サーバー納期（最短6ヶ月）						構築（3ヶ月）												
	OSサポート期限（R5.10.10）	→																					

- 令和4年度当初予算でサーバーの統合・仮想化のみで更新する予定であった。この時点では、納品・構築に要する期間は一般的な6ヶ月で、また、OSサポート期限はR5.1.10であった。
- 令和4年度6月補正予算でサーバーの統合・仮想化に加え、インターネット分離する計画に変更した。補正予算を計上するために見積書を提出してもらったが、この時点では納品・構築に要する期間は6ヶ月であった。議決後、業者2社、メーカーに確認したところ、世界的な半導体不足によりサーバーの納期が最低でも6ヶ月かかることが判明。業者との協議の中で年度末に納期を設定した場合、応札できない可能性が高いという回答があった。

	計画変更後	2022										2023													
		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12			
3	債務負担行為設定							議決	入札・契約		サーバー納期（最短6ヶ月）						構築（3ヶ月）			運用					
	OSサポート期限（R5.10.10）	→																							
4	R5当初予算											入札・契約		サーバー納期（最短6ヶ月）						構築（3ヶ月）			運用		
	OSサポート期限（R5.10.10）	→																							

- 令和4年度9月補正でサーバーの統合・仮想化（当初予算）、インターネット分離（補正予算）の予算全額を減額補正し、債務負担行為を設定。年内に入札・契約し、令和5年10月から運用開始。
- 令和5年度当初予算で更新を実施しようとした場合、OSサポート期限終了に間に合わない。

教育系サーバー更新事業 債務負担行為 小学校費・中学校費 内訳表

月額	令和5年(6月分)			令和6年～令和9年			令和10年(6月分)			
	総額	小学校	中学校	総額	小学校	中学校	総額	小学校	中学校	
機械器具借上料	1,969,000	11,814,000	7,644,353	4,169,647	23,628,000	15,288,706	8,339,294	11,814,000	7,644,353	4,169,647
システム保守委託料	110,000	660,000	427,059	232,941	1,320,000	854,118	465,882	660,000	427,059	232,941
	2,079,000	12,474,000	8,071,412	4,402,588	24,948,000	16,142,824	8,805,176	12,474,000	8,071,412	4,402,588

■年度別債務負担行為額

(単位:千円)

	小学校	中学校	計
令和5年	8,071	4,403	12,474
令和6年	16,143	8,805	24,948
令和7年	16,143	8,805	24,948
令和8年	16,143	8,805	24,948
令和9年	16,143	8,805	24,948
令和10年	8,071	4,403	12,474
	80,714	44,026	124,740

新型コロナウイルス感染症対策に伴う指定管理者への補償について(きらら交流館分)

1 概要

新型コロナウイルス感染症対策により、市は公共施設を令和3年8月下旬から9月下旬の約1ヵ月間休館した。きらら交流館においては、令和3年8月30日から9月27日まで休館となった。

その後、利用を再開したものの、感染症の影響により年間を通じた利用者の落ち込みが続き需要が回復せず、利用料収入の減少に影響を及ぼした。

この状況を鑑み、当初見込んでいた利用料収入が減少し損失が発生した施設について、令和3年度の収入と支出の状況を精査し補償を行う。

2 補償の対象期間

令和3年度の決算に基づく損失分を補償（令和3年4月から令和4年3月まで）

3 補償金額算出の考え方

「休館等による収入減少分 > 休館等による支出減少分」の場合

$$\text{収入減少分} - \text{支出減少分} = \text{補償金額}$$

4 補償金額

	見込額	R3 年度実績	差引
収入(指定管理料除く)	94,455,092	68,673,027	25,782,065
支出	126,197,480	106,478,019	19,719,461
		差額	6,062,604
		× 1.1	6,668,864
			補償金額

運営費交付金等の推移について

■ 平成28年度～令和3年度の金額は決算額、令和4年度は9月補正時の金額です。学生数は、毎年5月1日現在の人数です。

自主財源・運営費交付金・補助金		平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
大学予算(決算)額		1,542,651,000円	2,274,835,000円	2,674,446,000円	2,525,804,000円	2,509,209,000円	2,639,753,000円	3,277,996,000円
自主財源	金額	771,628,000円	729,750,000円	1,131,531,000円	988,281,000円	842,797,000円	911,112,000円	1,331,989,000円
	割合	50.0%	32.1%	42.3%	39.1%	33.6%	34.5%	40.7%
運営費交付金	金額	771,023,000円	1,545,085,000円	1,542,915,000円	1,537,523,000円	1,590,987,000円	1,645,940,000円	1,620,304,000円
	割合	50.0%	67.9%	57.7%	60.9%	63.4%	62.4%	49.4%
授業料等減免補助金	金額					75,425,000円	82,701,000円	92,703,000円
	割合					3.0%	3.1%	2.8%
施設整備補助金	金額							233,000,000円
	割合							7.1%

※トップランナー方式：地方交付税の算定基礎となる単位費用の一部の積算に、民間委託等による合理化の要素を反映させたもの。
 [公立大学：平成29年度～令和3年度の5年間で15%の削減。年3%ずつ削減される目安]

(参考)

工学部		平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
普通交付税	単価	1,694,970円	1,644,800円	1,602,540円	1,534,100円	1,504,800円	1,457,960円	1,460,760円
	対前年度		▲3.0%	▲2.6%	▲4.3%	▲1.9%	▲3.1%	0.2%
学生数(839人)		922人	971人	1,004人	924人	889人	893人	902人
1年(200人)		221人	204人	211人	223人	208人	219人	220人
2年(200人)		361人	219人	201人	209人	221人	196人	224人
3年(200人)		180人	382人	285人	231人	235人	244人	218人
4年(200人)		134人	136人	282人	224人	185人	194人	198人
小計(800人)		896人	941人	979人	887人	849人	853人	860人
大学院(39人)		26人	30人	25人	37人	40人	40人	42人
普通交付税措置額		1,562,762,340円	1,597,100,800円	1,608,950,160円	1,417,508,400円	1,337,767,200円	1,301,958,280円	1,317,605,520円
対前年度増減額			34,338,460円	11,849,360円	▲191,441,760円	▲79,741,200円	▲35,808,920円	15,647,240円

薬学部		平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
普通交付税	単価			1,832,220円	1,777,440円	1,721,400円	1,687,560円	1,663,800円
	対前年度				▲3.0%	▲3.2%	▲2.0%	▲1.4%
学生数(720人)				119人	261人	378人	487人	597人
1年(120人)				119人	148人	124人	125人	128人
2年(120人)					113人	147人	118人	120人
3年(120人)						107人	140人	113人
4年(120人)							104人	133人
5年(120人)								103人
6年(120人)								
普通交付税措置額				218,034,180円	463,911,840円	650,689,200円	821,841,720円	993,288,600円
対前年度増減額					245,877,660	186,777,360	171,152,520	171,446,880

総数(額)		平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
学生総数		922人	971人	1,123人	1,185人	1,267人	1,380人	1,499人
普通交付税措置額【R2からの新制度】 授業料等減免分⇒		1,562,762,340円	1,597,100,800円	1,826,984,340円	1,881,420,240円	1,988,456,400円	2,123,800,000円	2,310,894,120円
						135,661,848円	130,899,797円	134,260,861円
対前年度増減額			34,338,460円	229,883,540円	54,435,900円	242,698,008円	130,581,549円	190,455,184円

公立大学法人運営基金の推移について

歳入歳出決算書 P382

年度	内 容	積立額	取崩額	基金残高
H28	学校法人からの施設整備負担金の余剰金 〔607,829,597円－322,814,000円＝残額285,015,597円〕	285,015,597	0	285,015,597
	寄附金〔メスキュード医療安全基金〕 ※H27年度分収入	1,500,000	0	286,515,597
	普通交付税措置額の余剰分 〔1,562,762,000円－448,209,000円－51,200,000円〕	1,063,353,000	0	1,349,868,597
H29	利子	3,031	0	1,349,871,628
	利子	6,730	0	1,349,878,358
	運営費交付金に充当〔財源は学校法人からの施設整備負担金： 285,015,597円－47,457,000円＝残高237,558,597円〕	0	▲ 47,457,000	1,302,421,358
	運営費交付金に充当〔普通交付税不足分の補てん〕	0	▲ 169,487,000	1,132,934,358
	校舎建設費に充当〔1,562,762,000円×20%－51,200,000円〕 ※ H28年度分の充当残額	0	▲ 261,352,000	871,582,358
H30	利子	4,660	0	871,587,018
	利子	4,345	0	871,591,363
	運営費交付金に充当〔財源は学校法人からの施設整備負担金：残額 0円〕	0	▲ 237,558,597	634,032,766
	普通交付税措置額の余剰分 〔1,822,800,000円－364,560,000円－1,304,856,000円－ 31,103,000円〕	122,281,000	0	756,313,766
	普通交付税措置額の余剰分(追加) 〔(1,826,984,000円－1,822,800,000円)×0.8＝3,347,200円 ※千円未満切上〕	3,348,000	0	759,661,766
	寄附金の積立〔H28 メスキュード医療安全基金100万円、H29 メ スキュード医療安全基金50万円、H30 企業100万円〕	2,500,000	0	762,161,766
	大学関連事業費(理科大生市内定住促進事業費)の減額に伴うもの ※決算〔21,103,000円－7,163,000円＝13,940,000円〕	13,940,000	0	776,101,766
R01	利子	2,598	0	776,104,364
	利子	2,373	0	776,106,737
	利子	601,643	0	776,708,380
	寄附金の積立〔H30 メスキュード医療安全基金100万円、R01 企 業100万円〕	2,000,000	0	778,708,380
	運営費交付金に充当〔財源は寄附金。工学部：2,000,000円、薬学 部：2,000,000円〕※メスキュード医療安全基金分300万円、企業 分100万円	0	▲ 4,000,000	774,708,380
	運営費交付金に充当〔普通交付税措置額から校舎建設費、運営費交 付金、その他大学関連経費を差し引いて不足する額〕	0	▲ 78,306,000	696,402,380
	普通交付税措置額の確定〔普通交付税不足分の減〕 〔(1,881,420,000円－1,845,013,000円)×0.8＝29,125,600円〕※ 千円未満切捨	0	29,125,000	725,527,380
	大学関連事業費(理科大生市内定住促進事業費)の減額に伴うもの ※決算〔20,794,000円－5,157,625円＝15,636,375円〕	0	15,636,375	741,163,755

公立大学法人運営基金の推移について

歳入歳出決算書 P382

年度	内 容	積立額	取崩額	基金残高
R02	利子	3,482	0	741,167,237
	利子	3,837	0	741,171,074
	寄附金の積立〔R01：メスキュード医療安全基金分100万円、R02：企業分100万円、個人5万円〕	2,050,000	0	743,221,074
	運営費交付金に充当〔普通交付税不足分の充当〕	0	▲ 53,447,000	689,774,074
	普通交付税措置額の確定〔普通交付税不足分の減〕 〔2,124,118,000円－2,021,530,000円－55,756,000円＋6,615,000円＝53,447,000円〕	0	53,447,000	743,221,074
	普通交付税措置額の余剰分 〔2,124,118,000円－397,691,000円－1,590,987,000円－71,713,000円－7,971,000円＝55,756,000円〕	55,756,000	0	798,977,074
	授業料等減免補助金に充当〔普通交付税余剰分の減〕 〔71,713,000円－87,749,000円＝▲16,036,000円〕	▲ 16,036,000	0	782,941,074
R03	利子	3,666	0	782,944,740
	利子	4,053	0	782,948,793
	寄附金の積立〔R03：企業分100万円〕	1,000,000	0	783,948,793
	運営費交付金に充当〔普通交付税不足分の補てん〕	0	▲ 110,120,000	673,828,793
	運営費交付金に充当〔寄附金分の充当〕	0	▲ 4,050,000	669,778,793
	普通交付税措置額の確定〔普通交付税不足分の減〕 〔2,254,700,000円－2,226,358,000円＋1,726,000円＝30,068,000円〕	0	30,068,000	699,846,793
	授業料等減免補助金及び理科大生市内定住促進事業費の減額に伴うもの ※決算〔103,735,000円－86,763,255円＝16,971,745円〕	0	16,971,745	716,818,538
R04	利子	28,000	0	716,846,538
	普通交付税措置額の不足分〔施設整備事業〕	0	▲ 49,466,000	667,380,538
	普通交付税措置額の余剰分〔その他大学事業〕	17,507,000	0	684,887,538
	普通交付税措置額の確定〔施設整備事業不足分の増〕 〔▲52,477,000円－▲49,466,000円＝▲3,011,000円〕	0	▲ 3,011,000	681,876,538
	普通交付税措置額の確定〔その他大学事業余剰分の増〕 〔2,445,155,000円－2,406,003,000円＋3,011,000円＝42,163,000円〕	42,163,000	0	724,039,538
	公立大学法人納付金	50,197	0	724,089,735

学生数等の推移について

■学生数の推移と定員充足率（在学生数／収容定員）

	H28		H29		H30		R01		R02		R03		R04	
工学部	896	112.0%	941	117.6%	979	122.4%	887	110.9%	849	106.1%	853	106.6%	860	107.5%
薬学部	—	—	—	—	119	99.2%	261	108.8%	378	105.0%	487	101.5%	597	99.5%
大学院	26	66.7%	30	76.9%	25	64.1%	37	94.9%	40	102.6%	40	102.6%	42	107.7%
計	922	109.9%	971	115.7%	1,123	117.1%	1,185	109.8%	1,267	105.7%	1,380	104.6%	1,499	104.2%

学部の学生数		H28	H29	H30	R01	R02	R03	R04
工学部 入学定員 200人	1年	221	204	211	223	208	219	220
	2年	361	219	201	209	221	196	224
	3年	180	382	285	231	235	244	218
	4年	134	136	282	224	185	194	198
	計	896	941	979	887	849	853	860
薬学部 入学定員 120人	1年	—	—	119	148	124	125	128
	2年	—	—	—	113	147	118	120
	3年	—	—	—	—	107	140	113
	4年	—	—	—	—	—	104	133
	5年	—	—	—	—	—	—	103
計	—	—	119	261	378	487	597	
合計	896	941	1,098	1,148	1,227	1,340	1,457	

■一般入学試験〔前期日程A方式・B方式、中期日程〕の志願倍率の推移（志願者数／募集人員）

	募集人数		H29 (84校)		H30(86校)		R01(88校)		R02(89校)		R03(90校)		R04(90校)	
	~R03	R04												
工学部	122	100	1,655	13.6倍	2,185	17.9倍	1,324	10.9倍	1,832	15.0倍	1,306	10.7倍	1,525	15.3倍
薬学部	90	70	—	—	1,419	15.8倍	1,068	11.9倍	1,101	12.2倍	870	9.7倍	941	13.4倍
計	212	170	1,655	13.6倍	3,604	17.0倍	2,392	11.3倍	2,933	13.8倍	2,176	10.3倍	2,466	14.5倍

公立大学全体での順位 公立大学全体の平均倍率	順位	平均倍率	順位	平均倍率	順位	平均倍率	順位	平均倍率	順位	平均倍率	順位	平均倍率
		3位	6.4倍	1位	6.3倍	3位	6.3倍	1位	6.0倍	2位	5.9倍	1位
志願倍率 1位	奈良県立医科大学		山口東京理科大学		岐阜薬科大学		山口東京理科大学		下関市立大学		山口東京理科大学	
志願倍率 2位	下関市立大学		敦賀市立看護大学		奈良県立大学		公立諏訪東京理科大学		山口東京理科大学		岐阜薬科大学	
志願倍率 3位	山口東京理科大学		下関市立大学		山口東京理科大学		下関市立大学		岐阜薬科大学		奈良県立医科大学	

■学部入学者に占める県内出身者の割合（県内出身者数／入学者数）

		H28	H29	H30	R01	R02	R03	R04
工学部	入学者数	221	204	211	223	208	215	214
	県内出身者数	60	41	54	50	59	65	48
	県内出身者数の割合	27.1%	20.1%	25.6%	22.4%	28.4%	30.2%	22.4%
薬学部	入学者数	—	—	119	145	121	120	122
	県内出身者数	—	—	35	37	33	39	45
	県内出身者数の割合	—	—	29.4%	25.5%	27.3%	32.5%	36.9%
全体	県内出身者数の割合	27.1%	20.1%	27.0%	23.6%	28.0%	31.0%	27.7%

■学部卒業者の県内就職率の推移（県内就職者数／就職決定者数）

		H29.3月		H30.3月		H31.3月		R02.3月		R03.3月		R04.3月	
卒業生数	就職希望者数	128	96	129	100	274	226	215	187	182	135	193	157
就職決定者数	県内就職者数	95	25	100	34	219	68	179	67	129	54	154	46
大学院進学者数	県内就職率	26	26.3%	19	34.0%	41	31.1%	25	37.4%	44	41.9%	30	29.9%

令和3年度決算 大学費【歳出】関係について

2款 総務費 1項 総務管理費 8目 財産管理費		歳入歳出決算書 P142・P143				
節	細 節	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額	
24	積立金	公立大学法人運営基金積立金	32,000	7,719	0	24,281
説明	預金利息 普通預金(交付税分) 3,650円+4,033円=7,683円 普通預金(その他分: 利子、寄附金) 16円+20円=36円 ※ 令和3年度末の公立大学法人運営基金残高: 716,818,538円〔交付税分: 715,813,678円、その他分: 1,004,860円〕 歳入: 17款 財産収入 1項 財産運用収入 2目 利子及び配当金 1節 利子及び配当金 基金運用収入 7,719円					

2款 総務費 7項 大学費 1目 大学費		大学事業	大学事業費	歳入歳出決算書 P190~P193		
節	細 節	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額	
1	報酬	委員報酬	192,000	40,000	0	152,000
説明	〈当初予算〉 会議開催 8回、委員報酬 4,000円×6人×8回=192,000円 山陽小野田市公立大学法人評価委員会 委員数3人(うち1人は委員報酬を辞退)(条例の委員定数は6人以内) 会議開催実績5回					
8	旅費	普通旅費	122,000	0	0	122,000
説明	全国公立大学設置団体協議会総会へ出席(岩手県、1人、1泊2日)するための費用。 ※ 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、岩手県での開催は中止となり、書面審議による総会となった。					
10	需用費	消耗品費	45,000	12,870	0	32,130
説明	業務関連書籍購入					
11	役務費	通信運搬費	59,142	59,142	0	0
説明	フレッツ光利用料(人事給与システム回線使用) 6,171円×8月+6,061円×1月+3,713円×1月=59,142円 ※ 人事給与システム負担金(公立大学法人山陽小野田市立山口東京理科大学より) 歳入: 21款 諸収入 4項 雑入 3目 雑入 2節 総務費雑入 人事給与システム負担金 379,286円 379,286円(負担金)=59,142円(通信運搬費)+309,144円(システム保守委託料)+11,000円(補償金22,000円×1/2)					
12	委託料	システム保守委託料	613,858	309,144	0	304,714
説明	人事給与システム運用保守業務委託料(R3.4月~R3.9月) 51,524円×6月=309,144円 ※ 人事給与システム負担金(公立大学法人山陽小野田市立山口東京理科大学より) 歳入: 21款 諸収入 4項 雑入 3目 雑入 2節 総務費雑入 人事給与システム負担金 379,286円 379,286円(負担金)=59,142円(通信運搬費)+309,144円(システム保守委託料)+11,000円(補償金22,000円×1/2)					
18	負担金、補助及び交付金	運営費交付金	1,645,940,000	1,645,940,000	0	0
		公立大学設置団体協議会負担金	20,000	0	0	20,000
		授業料等減免補助金	94,414,000	82,701,200	0	11,712,800
説明	運営費交付金: 1,645,940,000円(①-②-③) 公立大学法人の令和3年度決算額: 2,639,753,000円…① 授業料等減免補助金: 82,701,200円…② 公立大学法人の自主財源: 911,111,800円…③ 公立大学設置団体協議会負担金: 0円 全国公立大学設置団体協議会(R3.5.1現在: 公立大学数98校、うち法人化88大学(79法人)) ※ 新型コロナウイルス感染症の影響により、全国公立大学設置団体協議会の令和2年度活動経費が計画を下回り、令和3年度への繰越金が大幅に増加したため、書面決議により令和3年度の負担金は徴収されないことになった。 授業料等減免補助金: 82,701,200円(①+②) ※ 入学金減免額: 8,225,000円…①、授業料減免額: 74,476,200円…②					
21	補償、補填及び賠償金	補償金	22,000	22,000	0	0
説明	フレッツ光回線の解約による割引サービスに伴う解約金: 22,000円 ※ 人事給与システム負担金(公立大学法人山陽小野田市立山口東京理科大学より) 歳入: 21款 諸収入 4項 雑入 3目 雑入 2節 総務費雑入 人事給与システム負担金 379,286円 379,286円(負担金)=59,142円(通信運搬費)+309,144円(システム保守委託料)+11,000円(補償金22,000円×1/2)					

24	積立金	公立大学法人運営基金積立金	1,000,000	1,000,000	0	0
説明	寄附金の積立：1,000,000円 株式会社ライジングホールディングス：1,000,000円 H30：1,000,000円、R1：1,000,000円、R2：1,000,000円、R3：1,000,000円 ※歳入：18款 寄附金 1項 寄附金 5目 総務費寄附金 1節 総務費寄附金 総務費寄附金 1,000,000円					
計 ㉑			1,742,428,000	1,730,084,356	0	12,343,644

2款 総務費 7項 大学費 1目 大学費		大学整備業務	大学校舎建設事業費		歳入歳出決算書 P190～P193	
節	細 節	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額	
3	職員手当等	時間外勤務手当	400,000	187,673	0	212,327
説明	大学の施設整備に係る時間外勤務手当					
8	旅費	普通旅費	63,000	5,200	0	57,800
説明	法律相談のための出張(周南市：2回) ※R3.11.5：1人、R4.2.4：1人(出張以外に、リモートによる相談実績あり。)					
10	需用費	消耗品費	10,000	1,650	0	8,350
		燃料費	24,000	16,674	0	7,326
		修繕料	1,086,682	330,000	0	756,682
説明	消耗品費：事務用品購入 燃料費：リース公用車ガソリン代 修繕料：薬学部外壁撤去工事 ※薬学部6号館の飾り壁7枚を撤去した。					
11	役務費	保険料	268,818	268,818	0	0
説明	保険料：自動車損害共済基金分担金：12,736円、建物総合損害共済基金分担金：256,082円					
12	委託料	測量調査委託料	608,300	608,300	0	0
		発注支援委託料	0	0	0	0
		法律相談業務委託料	300,000	110,000	0	190,000
説明	測量設計委託料：未登記建物(薬学部校舎、倉庫、プロパン庫)に係る表題登記申請業務 発注支援委託料：グラウンド等の整備に係る設計図書作成及び工事管理業務(当初予算)2,500,000円 ※グラウンド等の整備を公立大学法人が実施することになったため、令和4年3月議会にて予算額の全額を減額補正した。 法律相談業務委託料：山口東京理科大学薬学部増築工事に係る法律相談					
13	使用料及び賃借料	機械器具借上料	183,000	182,632	0	368
説明	公用車リース料：15,876円×7月+14,300円×5月=182,632円 ※リース期間：H28.11.0～R3.10.31(5年間)、再リース期間：R3.11.1～R5.10.31(2年間)					
14	工事請負費	工事請負費	299,200	299,200	0	0
説明	フェンス門扉設置工事：299,200円 ※薬学部校舎地北側の出入口付近の水路(法定外公物)への進入口を確保するため、フェンスに門扉を設置した。					
18	負担金、補助及び交付金	テレビ共同受信施設組合負担金	94,000	93,600	0	400
説明	小野田テレビ共同受信施設組合(薬学部増築工事に伴う電波障害への対応) 300円(戸建て)×2戸×12月+3,600円(集合住宅)×2棟×12月=93,600円					
計 ㉒			3,337,000	2,103,747	0	1,233,253

歳入歳出決算書
P190・P191

7項 大学費 1目 大学費の合計(㉑+㉒)		予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額	
		1,745,765,000	1,732,188,103	0	13,576,897	

(参考) 7項 大学費における事業別の支出済額

節	細 節	大学事業費	大学校舎 建設事業	合 計	不用額	
1	報酬	委員報酬	40,000	40,000	152,000	
3	職員手当等	時間外勤務手当		187,673	212,327	
8	旅費	普通旅費	0	5,200	179,800	
10	需用費	消耗品費	12,870	1,650	40,480	
		燃料費		16,674	7,326	
		修繕料		330,000	756,682	
11	役務費	通信運搬費	59,142		0	
		保険料		268,818	327,960	0
12	委託料	システム保守委託料	309,144		304,714	
		測量調査委託料		608,300	0	
		発注支援委託料		0	0	
		法律相談業務委託料		110,000	190,000	
13	使用料及び賃借料	機械器具借上料		182,632	368	
14	工事請負費	工事請負費		299,200	0	
18	負担金、補助及び交付金	運営費交付金	1,645,940,000		0	
		公立大学設置団体協議会負担金	0		20,000	
		授業料等減免補助金	82,701,200		11,712,800	
		テレビ共同受信施設組合負担金		93,600	400	
21	補償、補填及び賠償金	補償金	22,000	22,000	0	
24	積立金	公立大学法人運営基金積立金	1,000,000	1,000,000	0	
合 計			1,730,084,356	2,103,747	1,732,188,103	13,576,897

令和3年度決算 大学費【歳入】関係について

17款 財産収入 1項 財産運用収入 2目 利子及び配当金			歳入歳出決算書 P94・P95
節	細節	予算現額	収入済額
1	利子及び配当金	32,000	7,719
説明	預金利息：7,719円（基金運用収入148,066円の内数） ① 普通預金（交付税分） 3,650円＋4,033円＝7,683円 ② 普通預金（その他） 16円＋ 20円＝ 36円 〈当初予算〉796,948,755円（公立大学法人運営基金残高）×0.004%＝31,877.9502…≒32,000円 歳出：2款 総務費 1項 総務管理費 8目 財産管理費 24節 積立金 公立大学法人運営基金積立金		
18款 寄附金 1項 寄附金 5目 総務費寄附金			歳入歳出決算書 P96・P97
節	細節	予算現額	収入済額
1	総務費寄附金	1,000,000	1,000,000
説明	総務費寄附金：1,000,000円（総務費寄附金3,320,000円の内数） 株式会社ライジングホールディングス 1,000,000円 [R3.8.25] ※ 寄附の実績 H30：100万円、R01：100万円、R02：100万円、R03：100万円		
19款 繰入金 1項 基金繰入金 9目 公立大学法人運営基金繰入金			歳入歳出決算書 P98・P99
節	細節	予算現額	収入済額
1	公立大学法人運営基金繰入金	84,102,000	67,130,255
説明	〈決算〉67,130,255円（Ⅰ＋Ⅱ） ① 普通交付税措置額：2,254,699,797円（㉞＋㉟）⇒2,254,700,000円 ※ 運営費分 2,123,800,000円（㉠＋㉡）…㉞ 工学部 1,457,960円×893人＝1,301,958,280円…㉠ 薬学部 1,687,560円×487人＝ 821,841,720円…㉡ ※ 授業料等減免分 130,899,797円…㉟ ② 校舎建設費への充当額：589,127,000円（㉣＋㉤） 工学部の2割 ㉠×0.2＝260,391,656円⇒260,391,000円…㉣ 薬学部の2割 ㉡×0.4＝328,736,688円⇒328,736,000円…㉤ ③ 運営費交付金（通常分）：1,641,890,000円 ④ 授業料等減免補助金：82,701,200円 ⑤ その他大学関連経費（山口東京理科大学生市内定住促進業務）：4,062,055円 Ⅰ：差引不足額：63,080,255円（①－②－③－④－⑤） Ⅱ：運営費交付金（寄附金充当分）：4,050,000円 ※ メスキュード医療安全基金 2,000,000円（H30、R1）、 (株)ライジングホールディングス 2,000,000円（R1、R2）、個人50,000円（R2）		

21款 諸収入 4項 雑入 3目 雑入			歳入歳出決算書 P104・P105	
節		細節	予算現額	収入済額
2	総務費雑入	人事給与システム負担金	695,000	379,286
説明	人事給与システム負担金 379,286円 (①+②+③: 人事給与システム負担金1,536,493円の内数) 公立大学法人山陽小野田市立山口東京理科大学より ① 人事給与システム回線使用料: 59,142円 ※ 歳出 2款 総務費 7項 大学費 1目 大学費 11節 役務費 通信運搬費 $6,171円 \times 8月 + 6,061円 \times 1月 + 3,713円 \times 1月 = 59,142円$ ② 人事給与システム保守業務: 309,144円 ※ 歳出 2款 総務費 7項 大学費 1目 大学費 12節 委託料 システム保守委託料 $51,524円 \times 6月 = 309,144円$ (R3.4月~R3.9月) ③ 回線解約金: 11,000円 ※ 歳出 2款 総務費 7項 大学費 1目 大学費 21節 補償、補填及び賠償金 補償金 $22,000円 \times 1/2 = 11,000円$ (市と大学で折半) 〈当初予算〉 695,000円 ① 回線使用料: 76,000円 ($6,281円 \times 12月 = 75,372円$) ② 保守業務: 619,000円 ($51,524円 \times 12月 = 618,288円$)			

22款 市債 1項 市債 1目 総務債			歳入歳出決算書 P116・P117	
節		細節	予算現額	収入済額
2	大学債	大学整備事業債	0	0
説明	大学整備事業債〔学校教育施設等整備事業債: 事業費×75% (起債充当率)〕 〈当初予算〉 適債経費2,500,000円×0.75=1,875,000円≒1,800,000円 ⇒ 適債経費=発注支援委託料2,500,000円 ※ グラウンド等の整備を公立大学法人が実施することになったため、令和4年3月議会にて予算額の全額を減額補正した。			

あなたの
笑顔、
探しに
来ませんか



移住定住情報リーフレット



山陽小野田市ってどんなところ？

みんなが笑顔でいきいきと過ごすまちのイメージを伝えるため、「スマイルシティ山陽小野田」をキャッチフレーズにしています。

山口県の南西部に位置し、下関市、宇部市、美祢市と接しています。瀬戸内海に面し、気候は温暖で災害も少なく住みやすい環境にあります。里山、河川、干拓地に広がる田園地帯、海などの豊かな自然のほか、森と湖に恵まれた公園など、優れた自然環境に包まれています。市内には山陽自動車道(小野田IC、埴生IC)、山陽新幹線厚狭駅があり、隣接する宇部市には山口宇部空港があるなど、良好なアクセスを備えています。



山陽小野田市移住定住情報ポータルサイト



お問い合わせフォーム



Instagram



市民1人あたりの都市公園面積 県内13市中第1位

- ♥親子で遊べる都市公園がいっぱい！
- ♥約1万本の桜が咲き誇り、展望台も設置された竜王山公園
- ♥豊かな自然と多くの野鳥や昆虫が暮らす江汐公園

市内には散策ができる広い都市公園が多く、自然も豊かでウォーキングに最適です。竜王山公園は、春は桜、夏はヒメボタルの乱舞、秋は旅する蝶「アサギマダラ」が飛来。中腹にオートキャンプ場があり、大型遊具は子どもたちに大人気です。



安心の医療体制

- ♥山陽小野田市民病院(産婦人科、小児科ほか)
- ♥山口労災病院(産婦人科、小児科ほか)
- ♥個人病院や薬局も多くて安心

休日に具合が悪くなったなら、休日応急医と山陽小野田市急患診療所で診療を行っています。重症患者の二次救急(山陽小野田市民病院、山口労災病院)のほか、重篤な救急患者の三次救急(山口大学医学部附属病院)が隣の宇部市にあります。



おでかけしやすい 良好なアクセス

- ♥長距離移動に便利な山陽新幹線厚狭駅
- ♥高速道路のインターチェンジが2つ
- ♥山口宇部空港まで車で約25分

厚狭駅から博多駅まで新幹線で約40分。山陽自動車道小野田IC、埴生ICからすぐに高速道路にアクセスできるので、車があると便利です。また、小野田駅周辺から駐車場無料の山口宇部空港まで車で約25分と、交通手段が充実しています。



笑顔 生まれる



子育ていいね！ スマイルキッズ

- ♥子どもたちの笑顔であふれるプレイスペース
- ♥子育て支援に関する講座やイベントが多数
- ♥雨の日でも安心、無料で利用できる

子育て世代が気軽に立ち寄って、未就学児とくつろげるプレイスペースがあります。また、子育てコンシェルジュに悩みを相談したり、子育てサービスの情報を得たりすることができ、総合的な子育て支援をワンストップで受けることができます。

おのだサンパーク

- ♥無料駐車台数2,400台の大型ショッピングセンター
- ♥生活密着の利便性とサービスや楽しみの場を提供

山口県内ではここにしかないショップが50店舗以上。圧倒的な専門店の数と幅広いニーズに応える大型ショッピングセンターです。グルメストリートもあります。



山口東京理科大学

- ♥工学部と薬学部を有する山陽小野田市立の公立大学法人
- ♥充実した学生食堂が整い、キャンパスライフを快適に演出
- ♥大学内の図書館は一般の方の利用も可能

落ち着いた教育環境のもと、東京理科大学との姉妹校関係を維持強化しつつ、薬工系の基礎的知識と専門的な学術を教育・研究するとともに、「地域のキーパーソン」の育成に貢献することをめざします。



山陽小野田市は私が生まれ育った場所です。大学生の頃から福岡で暮らしていましたが、いつかはここに帰ってこようと思っていました。ただ、仕事やお付き合いを考えると福岡を離れることはなかなか難しかったですね。一人暮らしをする母が80歳を超えたこともあり、2017年にUターン移住しました。同じ業界の方々が集まる団体に積極的に参加して、なるべく横の繋がりを広げるように意識をしていま

した。ユニークな方に多く出会い、気の合う仕事仲間も増えています。同じように、Uターンした方もけっこういらっちゃって、境遇が同じなので話も合います。若い頃にはわからなかったたくさんの魅力に気づく毎日です。豊かな自然、災害の少ない穏やかな気候、温かい人々など、とても暮らしやすい場所だと感じています。特に「日本の夕陽百選」に選ばれているきららビーチ焼野は素晴らしいです。対岸に九州が見える瀬戸内ならではの風景は、福岡で見ていた日本海側の景色とはまた違っていいですね。先日は有帆地区の熊野神社に撮影に行ったのですが、一説には奈良時代のものといわれる磨崖仏があり、知らなかった歴史を感じることもできました。



きららビーチ焼野 Recommend

「いつかは帰る」と思っていた故郷。仕事面でも、暮らしの面でも最適なタイミングで移住できました。

SMILE 1 戸谷さんご夫妻 2017年移住



円応寺 Recommend

茨城県の大学を卒業後、新古書のチェーン店に就職して、充実した生活を送っていました。しかし、大学生の頃に患った持病のクローン病が悪化。かかりつけだった先生のもとで療養するため、病院がある山陽小野田市にUターン。最初は病院の近くで夫婦で暮らしていましたが、現在は厚狭地区の実家で、両親と自分たち夫婦の計4人で暮らしています。これまで仕事で全国各地を転々としてきましたが、おしゃべり好きの方が多く、とても無口な方が多い県など、引越す度に県民性が変わるので慣れるのが大変だったんですよ。山陽小野田市の皆さんは、性格が明るくてフレンドリー。犬の散歩をしていると、ニコニコしながら話しかけてくれるんですよ。



私が働く加工所から車で5分ほどの場所にある円応寺は、お気に入りのスポット。敷地内からは、厚狭地区を象徴するのどかな田園風景を一望できる。山々に囲まれ、広大な田んぼに用水路が巡っている。川に目をやると、絶滅危惧種といわれるクロメダカが普通に泳いでいる。夏になればセミが鳴いて、秋が近づくと赤トンボが飛び回る。自分にとっての原風景がまだ残っていて、眺めていると癒されます。



ジビエの美味しさを多くの人に広めたい。厳しい療養生活を乗り越えて、大きな目標を見つけたUターン生活。

SMILE 3 仲村さんご夫妻 2005年移住



“山陽小野田市をガラスのまちに”一目ぼれした焼野海岸の景色を眺めながら、日々創作に励んでいます。

SMILE 2 池本美和さん 2002年移住

笑顔



「第1回現代ガラス展inおのだ」で準大賞をいただき、初めて山陽小野田市を訪れました。その時に魅了されたのが、きららビーチ焼野のロケーションの素晴らしいです。キラキラと輝く穏やかな海、美しい夕陽など、この風景をすっかり気に入ってしまったんです。海岸沿いにある建築家・隈研吾さん設計のレストラン「ソル・ポニエンテ」で食事をした際に、隈さんもこの場所に感動して建物を建てたと聞

きました。気候は穏やかですし、海も山も近く、とても暮らしやすい場所です。私は移住してわずか20年になります。同じようにこの場所に惹かれ、長く住んでいる人もたくさんいらっしゃいます。気軽にガラス制作体験ができる「きららガラス未来館」。建物は建築家・隈研吾さんの設計です。開館して17年になり、長年、通ってくださっている方もいて、そういった方々と交流できるのがとても楽しいですね。



きららガラス未来館 Recommend



美しい空と心地よい気候のもとでリフレッシュ。子どもと一緒に遊べる公園がたくさんあり、家族みんなが笑顔になれる街です。

SMILE 4 笠井さんご一家 2021年移住



山口は、主人の地元である北九州に近く、私の地元の長崎にも帰れない距離ではないので、生活しやすいと思いました。また、広島と福岡という2つの都市に遊びに行きやすいという点も魅力でした。移住先に山陽小野田市を選んだ理由は、子育てをするうえで欠かせない要素が整っているからです。近くに公園、図書館、保育園と幼稚園、小児科があるという私の希望を網羅していたのが、山陽小野田市の中川エリアでした。物件探しにおいても、山陽小野田市は私たちにとってぴったりの街でした。家族みんなで、「きららビーチ焼野」「江沙公園」といった自然スポットに出かけています。子育てファミリーが遊べる公園や施設が、車で30分~1時間の距離にあるので、退屈することなく生活できています。先日は「ドライブインみちしお」に行って、名物の貝汁を食べてきました。



江沙公園 Recommend



各インタビューのもと詳しいお話しはWEBで!